

令和 2 年 度

印旛広域水道用水供給事業

下半期事業概要報告書

自 令和 2 年 10 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

## 一. 令和2年度下半期の事業概要

### 1. 事業の概要

下半期の用水供給量は、10,257,668 m<sup>3</sup>（一日平均56,361 m<sup>3</sup>）で前年度同期の用水供給量 9,551,955 m<sup>3</sup>（一日平均52,196 m<sup>3</sup>）との比較では705,713 m<sup>3</sup>（対前年度同期比7.39%）の増となっています。

契約状況については、改良工事として長門川分岐地点及び成田市並木町供給地点計装設備更新工事、保存工事として小橋川水管橋塗装修繕工事を締結しました。

なお、本年度下期の業務量は、次のとおりです。

区 分	令和2年度下半期 (m <sup>3</sup> )	令和元年度下半期 (m <sup>3</sup> )	増 減 (m <sup>3</sup> )	前年度比 (%)
取 水 量	10,711,310	9,978,150	733,160	7.35
送 水 量	10,263,088	9,557,445	705,643	7.38
有 収 水 量	10,257,668	9,551,955	705,713	7.39

### 2. 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

収益的収支については、事業収益2,044,700,634円に対し、事業費用は、2,074,998,518円となりました。

事業収益の内訳は、営業収益1,920,206,284円、営業外収益117,961,505円及び特別利益6,532,845円となっています。

また、事業費用の内訳は、営業費用1,956,637,181円、営業外費用108,530,607円及び特別損失9,830,730円となりました。

なお、前年度同期の事業収益（1,819,701,568円）との比較では224,999,066円（対前年度同期比12.36%）の増収となり、また、前年度同期の事業費用（1,790,212,577円）との比較では284,785,941円（対前年度同期比15.91%）の増額となっています。

一方、資本的収支については、資本的収入額62,620,867円に対し、資本的支出額は274,045,782円となりました。

資本的収入の内訳は、企業債が31,200,000円、出資金が2,241,000円、負担金が23,149,564円及び固定資産売却代金が6,030,303円となり、資本的支出の内訳は、新設工事費が45,518,275円、建設改良費が108,502,291円、企業債償還金が106,166,353円、年賦償還金が6,756,532円及び国庫補助金返還金が7,102,331円となっております。

## (1) 収益の収入及び支出（消費税及び地方消費税込み）

## 収 入

(単位：円)

	予算額 (A)	上半期執行額 (B)	下半期執行額 (C)	予算残額 (A-B-C)	予算対比 (%) (C/A)
事業収益	4,058,488,000	2,021,967,355	2,044,700,634	△ 8,179,989	50.4
営業収益	3,846,178,000	1,924,246,297	1,920,206,284	1,725,419	49.9
営業外収益	205,778,000	97,721,058	117,961,505	△ 9,904,563	57.3
特別利益	6,532,000	0	6,532,845	△ 845	100.0

## 支 出

(単位：円)

区 分	予算額 (A)	上半期執行額 (B)	下半期執行額 (C)	予算残額 (A-B-C)	予算対比 (%) (C/A)
事業費用	3,888,376,000	1,777,273,252	2,074,998,518	36,104,230	53.4
営業費用	3,734,891,500	1,752,153,402	1,956,637,181	26,100,917	52.4
営業外費用	133,653,500	25,119,850	108,530,607	3,043	81.2
特別損失	9,831,000	0	9,830,730	270	100.0
予備費	10,000,000	0	0	10,000,000	0.0

## (2) 資本的収入及び支出（消費税及び地方消費税込み）

## 収 入

(単位：円)

区 分	予算額 (A)				上半期執行額 (B)	下半期執行額 (C)	予算残額 (A-B-C)	予算対比 (%) (C/A)
	予算額	法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費通次繰越額に係る財源充当額	合計				
資本的収入	105,759,000	0	0	105,759,000	32,545,000	62,620,867	10,593,133	59.2
企業債	37,600,000	0	0	37,600,000	0	31,200,000	6,400,000	83.0
出資金	4,485,000	0	0	4,485,000	2,244,000	2,241,000	0	50.0
負担金	57,644,000	0	0	57,644,000	30,301,000	23,149,564	4,193,436	40.2
固定資産売却代金	6,030,000	0	0	6,030,000	0	6,030,303	△ 303	100.0

## 支 出

(単位：円)

区 分	予算額 (A)				上半期執行額 (B)	下半期執行額 (C)	予算残額 (A-B-C)	予算対比 (%) (C/A)
	予算額	法第26条の規定による繰越額	継続費通次繰越額	合計				
資本的支出	616,606,000	42,405,000	80,899,396	739,910,396	211,707,524	274,045,782	254,157,090	37.0
新設工事費	95,833,000	0	80,899,396	176,732,396	46,746,560	45,518,275	84,467,561	25.8
建設改良費	279,105,000	42,405,000	0	321,510,000	53,319,789	108,502,291	159,687,920	33.7
企業債償還金	211,109,000	0	0	211,109,000	104,941,980	106,166,353	667	50.3
年賦償還金	13,456,000	0	0	13,456,000	6,699,195	6,756,532	273	50.2
国庫補助金返還金	7,103,000	0	0	7,103,000	0	7,102,331	669	100.0
予備費	10,000,000	0	0	10,000,000	0	0	10,000,000	0.0

### 3. 工 事

#### (1)改良工事の概況

工 事 名	施 行 内 容	工事費(円)	着工年月日	竣工年月日 (予定年月日)
長門川線φ350mm送水管切廻工事	1. φ350mmNS形ダグタイル鋳鉄管布設工 L=31.5m 2. φ350mm×φ350mm不断水切替弁設置工 2ヶ所 3. φ350mmNS形両受ソフトシール弁設置工 1ヶ所 4. φ75mm急速空気弁設置工 2ヶ所 5. φ350mm既設管単独撤去工 L=18.1m	37,180,000	令和2. 1. 29	令和 2. 7.31
富里市供給地点流量調節弁等更新工事	1. φ200mm電動ロート弁等更新工 1台	43,505,000	令和2. 7. 3	令和3. 3.10
印東加圧ポンプ場1・2号調整池耐震補強工事	1. 車路築造工 1式 2. 1号調整池耐震補強工 1式 3. 2号調整池耐震補強工 1式	46,770,696 (1,028,572,600)	令和2. 8. 7	(令和5. 2.28)
酒々井町尾上供給地点計装設備更新工事	1. 計装設備更新工 1式 2. 直流電源装置更新工 1式	0 (132,000,000)	令和2. 8.12	(令和4. 3.25)
長門川分岐地点及び成田市並木町供給地点計装設備更新工事	1. 長門川分岐地点計装設備更新工 1式 2. 成田市並木町供給地点計装設備更新工 1式 3. 印東加圧ポンプ場側設備機能改造工 1式 4. 北総浄水場側設備機能改造工 1式	0 (192,500,000)	令和3. 3.17	(令和5. 3.17)

(注)工事費の( )書きは工事費総額であり、上段は当該年度執行分である。

#### (2)保存工事の概況

工 事 名	施 行 内 容	工事費(円)	着工年月日	竣工年月日
白井分岐地点空気弁室等嵩下修繕工事	1. 空気弁室等嵩下げ工 2箇所 2. 電動弁室嵩下げ工 1箇所 3. 弁筐嵩下げ工 2箇所 4. 不断水フランジ短管交換工 1箇所 5. φ40mmHIVP布設工 3.3m	1,155,000	令和2. 6.25	令和2. 8.28
佐倉市南部供給地点流量調節弁等制御装置修繕工事	1. 電動弁駆動装置交換工 4台 2. 流量調節弁等制御装置部品交換工 3台 3. 流量調節弁等機構部部品交換工 2台 4. 試験調整工 1式 5. バルブ外面塗装工 5台	26,697,000	令和2. 7. 3	令和3. 3.10
手繰川ドレーン用地フェンス等修繕工事	1. フェンス工 1式 2. 舗装工 1式	5,830,000	令和2.10.27	令和3. 1.29
小橋川水管橋塗装修繕工事	1. 水管橋塗替塗装工 1式 2. 仮設工 1式	11,682,000	令和2.11.20	令和3. 2.26

二. 令和2年度印旛郡市広域市町村圏事務組合  
水道用水供給事業損益計算書(消費税及び地方消費税抜き表示)

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

各項目の上段( )内は、令和2年度下期の数値を示す。

(単位:円)

1 営業収益			
	(1,745,642,100)		
(1) 給水収益	3,494,956,937		
	(0)	(1,745,642,100)	
(2) その他の営業収益	<u>0</u>	<u>3,494,956,937</u>	
2 営業費用			
	(1,149,017,645)		
(1) 原水及び浄水費	2,287,369,814		
	(190,944,020)		
(2) 送水費	263,819,277		
	(82,114,526)		
(3) 総係費	134,408,164		
	(368,932,695)		
(4) 減価償却費	738,849,899		
	(31,630,493)	(1,822,639,379)	
(5) 資産減耗費	<u>31,630,493</u>	<u>3,456,077,647</u>	
			(△ 76,997,279)
営業利益			38,879,290
3 営業外収益			
	(0)		
(1) 補助金	5,000,000		
	(581,000)		
(2) 他会計補助金	1,057,000		
	(115,516,579)		
(3) 長期前受金戻入	207,312,247		
	(1,733,106)	(117,830,685)	
(4) 雑収益	<u>2,182,496</u>	<u>215,551,743</u>	
4 営業外費用			
	(23,851,184)		
(1) 支払利息	48,971,034		
	(39,831)	(23,891,015)	(93,939,670)
(2) 雑支出	<u>39,831</u>	<u>49,010,865</u>	<u>166,540,878</u>
			(16,942,391)
経常利益			205,420,168
5 特別利益			
	(6,532,845)	(6,532,845)	
(1) その他特別利益	<u>6,532,845</u>	<u>6,532,845</u>	
6 特別損失			
	(9,830,730)	(9,830,730)	(△ 3,297,885)
(1) その他特別損失	<u>9,830,730</u>	<u>9,830,730</u>	<u>△ 3,297,885</u>
当年度純利益			(13,644,506)
			202,122,283
前年度繰越利益剰余金			(△ 328,597,311)
			0
その他未処分利益剰余金変動額			(211,108,333)
			211,108,333
当年度未処分利益剰余金			(△ 103,844,472)
			<u>413,230,616</u>

三. 令和2年度印旛郡市広域市町村圏事務組合

水道用水供給事業貸借対照表(消費税及び地方消費税抜き表示)

(令和3年3月31日)

(単位:円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ. 土 地		300,735,514	
ロ. 建 物	295,775,074		
減価償却累計額	△ 170,463,491	125,311,583	
ハ. 構 築 物	14,137,138,556		
減価償却累計額	△ 9,313,315,988	4,823,822,568	
ニ. 機 械 及 び 装 置	3,745,031,091		
減価償却累計額	△ 2,307,330,147	1,437,700,944	
ホ. 車 両 運 搬 具	0		
減価償却累計額	0	0	
ヘ. 工 具 器 具 及 び 備 品	4,114,780		
減価償却累計額	△ 2,571,828	1,542,952	
ト. 建 設 仮 勘 定		135,913,411	
有形固定資産合計			6,825,026,972

(2) 無 形 固 定 資 産

イ. 水 利 権		21,312,500	
ロ. ダ ム 使 用 権		12,298,794,058	
ハ. 電 話 加 入 権		547,100	
ニ. その他無形固定資産		479,210	
無形固定資産合計			12,321,132,868

(3) 投 資 そ の 他 の 資 産

イ. 前払退職手当負担金	108,158,810		
投資その他の資産合計		108,158,810	
固定資産合計			19,254,318,650

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金		4,853,504,132	
(2) 未 収 金		327,377,989	
(3) 貯 蔵 品		1,166,400	
(4) 前 払 金		39,600,000	
流動資産合計			5,221,648,521

資 産 合 計			24,475,967,171
---------	--	--	----------------

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

イ. 建設改良費等の財源に  
充てるための企業債

3,107,976,050

企業債合計

3,107,976,050

(2) 年賦未払金

143,335,810

固定負債合計

3,251,311,860

4 流動負債

(1) 企業債

イ. 建設改良費等の財源に  
充てるための企業債

249,872,839

企業債合計

249,872,839

(2) 年賦未払金

13,035,282

(3) 未払金

140,942,808

(4) 引当金

賞与引当金

13,857,000

引当金合計

13,857,000

その他流動負債

781

その他流動負債

781

流動負債合計

417,708,710

5 繰延収益

(1) 長期前受金

10,242,717,857

(2) 長期前受金収益化累計額

△ 5,410,311,992

繰延収益合計

4,832,405,865

負債合計

8,501,426,435

資本の部

6 資本金

13,767,241,344

7 剰余金

(1) 資本剰余金

イ. 国庫補助金

182,318,901

ロ. その他資本剰余金

444,289,033

資本剰余金合計

626,607,934

(2) 利益剰余金

イ. 減債積立金

1,167,460,842

ロ. 当年度未処分利益剰余金

413,230,616

利益剰余金合計

1,580,691,458

剰余金合計

2,207,299,392

資本合計

15,974,540,736

負債・資本合計

24,475,967,171

## 注 記 表

### I 重要な会計方針

1 たな卸資産の評価基準及び評価方法  
・貯蔵品 先入先出法による原価法

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・定額法

・主な耐用年数

建物:65年、構築物:40年、機械及び装置:15年、器具及び備品:5～15年

(2) 無形固定資産

・定額法

3 引当金の計上基準

(1) 退職手当給付引当金

一般会計との協議により、当年度末における職員に対する退職手当の要支給額と千葉県市町村総合事務組合への積立額を比較したところ、積立額が要支給額を超える負担額となっており、前払費用として前払退職手当負担金を計上している。

(2) 賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末手当、勤勉手当の支給及びそれらの法定福利費の支払に備えるため、本年度末における支給見込額に基づき、本年度の負担に属する額を計上している。

4 消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

### II 貸借対照表

1 賞与引当金及び法定福利費引当金の取崩し

令和2年度において、期末手当、勤勉手当の支給及びそれらの法定福利費を支出するため、14,315千円を取り崩している。



## 四. 令和3年度予算の概要

### 1. 予算の概要

令和3年度予算は、水道用水供給量22,398,600m<sup>3</sup>（一日平均61,366m<sup>3</sup>）で前年度比1,314,700m<sup>3</sup>（6.24%）の供給量増となっています。

資本的支出の新設工事費は、霞ヶ浦導水建設事業の負担金等を計上しました。建設改良費は、「印東加圧ポンプ場1・2号調整池耐震補強工事」（令和2年度～令和4年度）、「長門川分岐地点及び成田市並木町供給地点計装設備更新工事」及び「佐倉市志津供給地点圧力・流量調節弁更新工事」を計上しました。

#### 収益的収入及び支出

##### 収入

（単位：円）

区分	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	比較増減
事業収益	4,172,411,000	4,107,516,000	64,895,000
営業収益	3,985,649,000	3,850,420,000	135,229,000
営業外収益	175,494,000	249,028,000	△ 73,534,000
特別利益	11,268,000	8,068,000	3,200,000

##### 支出

区分	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	比較増減
事業費用	3,936,492,000	3,801,676,000	134,816,000
営業費用	3,870,044,000	3,653,227,000	216,817,000
営業外費用	56,448,000	128,226,000	△ 71,778,000
予備費	10,000,000	10,000,000	0
特別損失	0	10,223,000	△ 10,223,000

#### 資本的収入及び支出

##### 収入

区分	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	比較増減
資本的収入	72,996,000	112,553,000	△ 39,557,000
企業債	23,300,000	41,200,000	△ 17,900,000
国庫補助金	22,834,000	0	22,834,000
出資金	26,862,000	4,485,000	22,377,000
負担金	0	60,598,000	△ 60,598,000
固定資産売却代金	0	6,270,000	△ 6,270,000

##### 支出

区分	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	比較増減
資本的支出	1,178,431,000	638,422,000	540,009,000
新設工事費	81,021,000	101,944,000	△ 20,923,000
建設改良費	823,849,000	294,480,000	529,369,000
企業債償還金	249,873,000	211,109,000	38,764,000
年賦償還金	13,688,000	13,456,000	232,000
予備費	10,000,000	10,000,000	0
国庫補助金返還金	0	7,433,000	△ 7,433,000

## 2. 事業の経営方針

当組合は、構成団体の早期供給要望に対し、浄水場等基幹施設の建設を先送りし、千葉県企業局への浄水加工委託により、昭和57年度に一部給水を開始し、平成5年度から全構成団体へ供給となっております。

また、平成17年度から「水道施設の使用及び業務委託に関する協定書」を締結し、千葉県企業局の行政財産の使用許可及び浄水処理等の業務委託による方式に改めたものであります。

経営状況ですが、平成19年度に累積欠損金が解消され令和2年度決算におきましても、205,420,168円の経常利益となっており、資金不足額も無く、流動比率も高く、良好な経営状態にあると判断されるところであります。

しかし、今後は資本費の負担や施設の更新事業費が多大に見込まれ、厳しい経営を余儀なくされることが想定されるため、更なる経営の効率化に努めます。

さらに、事業費の大半は、千葉県企業局施設の使用料及び浄水処理等の委託料であり、長期の財政を見通すことは大変困難であります。

今後も水道水の供給を安定して行うため、将来の水需要を的確に把握し、事業運営を効率的に行います。